

被災者生活再建支援制度の抜本的拡充を求める とりくみニュース

《発信元》

東北6県生協連運動事務局
宮城県生活協同組合連合会
責任者 野崎 和夫
TEL 022-276-5162
FAX 022-276-5160

NO. 5 (2014年10月30日)

■署名の集約状況 (10月28日現在)

県連	筆数	主な生協の署名数
青森県 (10万)	18,110 筆	コープあおもり 8,535 筆、県民生協 2,617 筆、青森保健 2,625 筆、津軽保健 2969 筆、県庁消費 377 筆、八戸医療 449 筆、弘前大生協 134 筆、十和田市職生協 85 筆、生活クラブ 93 筆、
岩手県 (20万)	13,282 筆	署名運動推進協議会 2,554 筆、学校生協 7,253 筆、いわて生協 1,800 筆
秋田県 (10万)	集約中	コープあきた共同購入への3万枚折り込み、つどいでの呼びかけを～11月30日まで実施
山形県 (10万)	10,909 筆	山形県生協連 1570 筆、生協共立社 3249 筆、庄内医療生協 3,148 筆、山形学校生協 1,501 筆
宮城県 (20万)	59,233 筆	みやぎ生協 36,221 筆、宮城県労働者福祉協議会 16,387 筆、あいコープ 414 筆、県漁協 1,192 筆、介護ネット 168 筆、県民センター 3,741 筆、仙台弁護士会 49 筆、多賀城市仮設 79 筆等、みやぎ生協共同購入利用者の回収 10月13日～始まる。
福島県 (10万)	5,350 筆	コープふくしま 5,350 筆、委員会・つどい・共同購入への配布。
上記以外の県、 (宮城県連到着分+ 日生協北海道・東北 地連集計分)	64,780 筆	大阪いずみ市民生協 27,236 筆、東都生協約 5,800 筆、コープいしかわ、3,189 筆、新潟県連 2,077 筆、大分県連 985 筆、いばらきコープ 856 筆、生協エスコープ大阪 1014 筆、福岡県連 840 筆、香川県 600 筆、長野県連 397 筆、富山県連 397 筆、大分医療生協 285 筆、協同福祉会 (奈良県) 306 筆、宝塚医療生協 303 筆など
合計	171,664 筆	

■東北の取り組み紹介 ～青森生協連・18,000筆を超える～

青森生協連では7月1週から署名数の週報体制で回収中
推進ニュース発行は第17段まで発行

職員やメンバーとの学習を主に9月までに実施し、その後署名をメンバーや職員に呼びかけ、署名の集約が徹底できるよう取り組んでいます。

先週は JR 青森駅前の観光施設アウガ前で理事・メンバー11人が1時間15分宣伝行動と署名のおすすめを行い、36名の署名をいただくことができました。

「署名」というだけで避けていく方もいましたが、「きちんと説明したら応じてくれた」と署名活動に参加したメンバーの声もありました。引き続き、毎週の署名集約数の報告とニュースを通じ、全加盟生協で目標数達成に向けて取り組みを進めています。

■宮城県内の取り組みについて

10月25日(土)、「今必要な、被災者への支援を考える県民フォーラム」を兵庫県震災復興研究センター事務局長の出口俊一さんを講師に被災者の方や宮城県土木課から災害復興公営住宅について現状と課題をお話いただきました。参加者からは阪神大震災以降の被災者生活再建支援法の成り立ちや今後の課題がわかり、署名時の会話に活用できると好評でした。参加者で署名活動を広げることを確認しました。早速、東日本大震災復興・復興支援みやぎ県民センターでは県内の仮設住宅自治会長への署名要請を開始しました。



街頭宣伝行動・新聞3紙取材あり



県民フォーラム・講師出口俊一さん

署名運動へのご協力をお願いします。(第2次集約:11月30日)